

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みのり		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの内容	食育に関するプログラムと利用児童の皆さんが「やってみたい」と思えるようなプログラムの選定を心がけています。食育に関しては畑づくり、出張料理人、長期休み明けの頑張ろうランチ会など目的やねらいをもって取り組んでいます。	食育のみでなく、専任講師によるリトミック・学習指導を継続し、児童の皆さんに「できた」「やったあ!」という達成感を感じていただけるよう配慮してまいります。スポーツ観戦や他事業所との交流を図り、コミュニケーションを大切にします。
2	SNSツールを利用した発信、保護者様との情報共有	SNSツールを利用することで、リアルタイムで支援の様子やお子様の活動の様子を見ていただいています。連絡帳は日々の様子や、家庭からの情報共有を行っています。	SNSツールの有効利用、HPでの会員ページの作成、連絡帳の継続による情報共有の強化を行ってまいります。発信の際には個人情報・顔出しの可否に細心の注意を払います。
3	医療的ケアにともなう看護師体制の配備	看護師を配置することで、医療的ケアの必要お子様以外にも安心したサービスの提供を行っております。日々の健康観察、持病があるが医療的ケア外のお子様などにも安心してご利用いただいております。	看護師・保育士・児童指導員で構成されているため、各所での共有を強化し、各自が各所の役割を把握することに努めます。役割外でもフォローしあいながら利用者様・保護者様への安心をお届けできるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の場の設定	保護者様同士の交流ができる場を設けていなかったため、事業所⇄保護者様という構図になっていました。モニタリング時などに「他のお子さんはどうなのかしら」というお声が聞かれていたこともあったので、交流会や保護者参加型のイベントを設けたいと思います。	保護者様の参加をお願いし、スタッフが支援を行っているあいだに保護者様には別会場で研修や交流に参加いただけるようにしていきます。親子で参加できる行事も行って行きたいと思っています。
2	他の児童クラブ等との関わり	他児童クラブ、地元小学校との交流がありません。事業所同士での交流のみでした。	放課後デイの事業所近郊の児童クラブ等にお声がけをし、交流の機会を設けさせていただき、インクルーシブな環境づくりに貢献していきます。
3	職員体制や支援内容の十分な発信について	職員体制の変更についておたよりでのみ発信、事業所内掲示のみでした。	職員体制の変更について、毎月のおたよりにて発行しておりましたが、しっかり共有いただけるようSNS、書類でのお伝えをしています。